



# 我等行く手の

令和2年度  
11月号  
利根商 進路だより

## ● はじめに

早くも2学期期末試験が終了しました。手応えはいかがだったでしょうか。授業、補習、家庭学習…日頃の小さな積み重ねが結果へとつながります。まずはこれから返ってくる試験結果を基に、よい結果はさらによく、悪かった結果は改善していきましょう！

## ● 「自学自習応援プロジェクト」について

今回、試験1週間前から「自学自習応援プロジェクト」が導入されました。このプロジェクトの目的は①学習時間の確保②主体的学習姿勢の確立③進路意識の向上でした。多くの生徒がこの目的を理解し、放課後の1時間に”全集中”で勉強に取り組む姿が見られました。一方、初めてのプロジェクトであったためか、戸惑う生徒の姿も見られました。

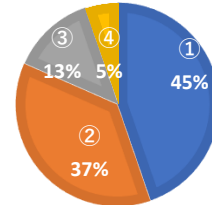
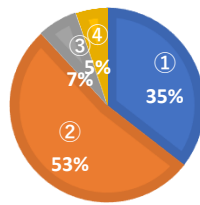
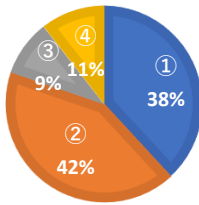
そこで、「自学自習応援プロジェクト」について76名の生徒にアンケートに協力してもらった結果と率直な感想を紹介していこうと思います。

### 【アンケート結果より】

Q1.積極的に取り組めた。

Q2.目的を理解して取り組めた。

Q3.試験対策として有効であった。



①あてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない

上記の結果を見ると、80パーセント以上の生徒が「自学自習応援プロジェクト」に肯定的に取り組めたことが分かりました。特に「目的」を理解して取り組めた人が多かったことはよかったです。しかしながら、試験対策としては不十分な点もあったようです。以下に挙げる生徒の声も参考にさせていただき、さらによりプロジェクトとするために進路指導部でも考えていきます。

### 【生徒の声】

- 課題が進んだ。
- 1時間だけだったが集中してできた。
- 充実した時間になったので、続けてほしい。
- 家に帰ってもやらなかったり、時間のとれない人にはいいと思う。
- 家よりも集中できた。
- 家に帰ってもやらないため、学校で勉強するのは有効だった。
- 静かな環境でしっかりと勉強ができてよかった。
- 強制的に勉強時間を作ることで、テスト前のいい勉強になった。

- △電車やバスについても考えてほしい。
- △対策プリントなどを配ってほしかった。
- △先生に質問できる時間(場所)がほしい。
- △無言でやらなければならない、分からないところが分からないままになってしまった。
- △朝学習の方がよい。
- ×放課後は集中できない。
- ×放課後は帰りたい。
- ×やらない人が多い。
- ×やっても意味がない。

## ● 最後に

PDCAサイクルで生活(勉強・部活・恋愛 etc)しよう！  
 P(Plan) = 【計画】5W1Hを念頭に置き、期限や数値目標を明確にして計画しよう。  
 D(Do) = 【実行】Planで立てた計画を基に実行しよう。Checkにつながるように、記録もする。  
 C(Check) = 【確認】計画どおりに実行できたか確認する。計画の甘かったところも確認する。  
 A(Action) = 【改善】Checkを生かして改善する。Planの時点から振り返る。  
 サイクル = PDCAは一度で終わりじゃない。何度も繰り返してこそ真のPDCAサイクルに。

